



浜田を楽しく 歩こう

健康なカラダを維持するために必要な、適度な運動を、より楽しくより長く継続していただけるように、浜田市内のオススメのウォーキングコースをご紹介します。

●問い合わせ先 ●
浜田市産業経済部 観光交流課 交流推進係
☎0855-25-9202



walk No.04 『松坂藩ゆかりの寺院巡り』 ウォーキングコース

距離 約3.4km

所要時間 約60～90分

第4回目となる今回は、浜田市と歴史的なご縁が深い、松坂藩（現三重県松阪市）と関係のある寺院などを巡るコースを紹介します。

浜田城跡を発着地として、元浜町の極楽寺、真光町の観音寺・宝珠院、そして蛭子町の長安院跡を歩くコースです。浜田藩初代藩主古田重治公は、約400年前に松坂から転封となり、浜田城を築きました。

まず極楽寺へ向かいます。古田重治公が松坂から浜田へ到着したとき、仮の居館としたと言われています。また、お寺の裏には徳川秀忠公の拝み墓があります。

港からの潮風を味わいながら、観音寺へ向かいます。松坂の国学者本居宣長の高弟であった浜田藩家臣小篠敏の墓があります。浜田藩第12代藩主の松平康定公は、本居宣長から源氏物語の講釈を受けたお礼に、駅鈴のレプリカを送ったと言われています。

3分ほど歩くと宝珠院に着きます。浜田藩第2代藩主古田重恒が、重治と自身の菩提寺として建立しました。重恒の供養墓である五輪塔を見ることができます。

長安院跡には歴代藩主の分霊墓があります。現在、本堂は三隅町の龍雲寺に移築されています。



極楽寺 徳川秀忠の拝み墓



観音寺



小篠敏の墓

